

農を強くし、農を守る農業農村整備事業の推進

農を強くする（地域で暮らし稼げる農業の実現）

1 地域のニーズに応じた基盤整備の推進

現状・課題

- 農家の高齢化・減少に伴い、生産効率の悪い未整備の農地から耕地面積が減少
- 基盤整備をしていないと担い手が借受けてくれない

取組方針

- 若者及び女性の新規就農者や、規模拡大、企業参入等の担い手を確保し、地域計画に基づき農地を集積する取組を加速化するために、**さらに基盤整備を推進**

今後の取組

平 地

まとまった優良農地の確保

国営事業を契機とした取組



- 高知南国地区国営緊急農地再編整備事業の実施 (受益面積：527ha、事業費：210億円)
 - 企業参入による大規模施設園芸の推進
 - 大規模露地園芸の推進 (タマネギ、キャベツ)
- (R8整備面積 A=24ha)

県営事業を契機とした取組



- 地域計画を着実に推進するための基盤整備の実施
 - 新規就農や規模拡大のための優良農地の確保
 - 大区画化による、生産コストの削減と水管理の効率化
- (R8整備面積 A=20ha)

中山間

迅速かつきめ細かな優良農地の確保

県営耕作条件改善事業を活用した取組



- 地域計画を着実に推進するための基盤整備の実施
 - 新規就農者等のニーズに応じて優良農地を迅速に確保
- (R8実施地区 10地区)

地域のニーズに応じた基盤整備をさらに推進し、担い手への農地集積の加速化が必要

農を強くするための政策提言

1 地域計画を着実に推進するための基盤整備予算の確保

- ・人口減少下において、若者や女性の新規就農者等の担い手を確保し、「地域で暮らし稼げる農業」の実現に向けて、**地域のニーズに応じた基盤整備をさらに推進し、優良農地を確保**

農を守る（安心して暮らせる農村環境の実現）

1 農村地域の防災・減災対策の強化

現状・課題

- 防災重点農業用ため池(215池)** (R7.3時点)
 - 【ハード対策】
 - 地震・豪雨対策として、215池の内、56池の対策工完了 (26%)
 - M8～9の南海トラフ地震対策の早期完了
 - 【ソフト対策】
 - 地震・豪雨時に安全かつ迅速な状況の把握が必要



ため池整備と監視強化

今後の取組

- 【ハード対策】
 - 対策工の早期完了
- 【ソフト対策】
 - 監視装置の設置



ため池情報 (水位映像)

情報伝送

行政

↓ 避難指示等

管理者



自主避難

周辺住民

防災重点農業用ため池の早期対策完了と監視の強化が必要

2 農業水利施設の機能維持及び強化

現状・課題

- 農業水利施設の長寿命化
 - 施設の老朽化が進行しており、特に、排水機場や可動堰などは機能低下により営農に大きな影響を及ぼす恐れがある
 - ⇒ 長寿命化 (機能維持) 対策が必要
- 農業水利施設の機能強化
 - 近年、集中豪雨が増加し、県内の園芸産地で浸水被害が発生
 - ⇒ 豪雨対策として、排水能力の向上が必要

老朽化 (オイル漏れなど)



今後の取組

- 【排水機場の機能維持】
 - 施設の機能診断に基づく長寿命化対策
- 【排水機場の機能強化】
 - 排水ポンプの増設など、排水能力の向上



施設の長寿命化と気候変動に伴う集中豪雨への対応が必要

農を守るための政策提言

1 農村地域の防災・減災対策を強化するための予算の確保

- ・南海トラフ地震や豪雨対策として、**ため池対策工の早期完了と、地震・豪雨時の監視を強化**

2 農業水利施設の機能維持及び強化するための予算の確保

- ・農業水利施設の**長寿命化対策**及び近年の気候変動対策としての**排水機場の機能強化**